成する「新冠町地域公共交通活性化協議の副町長と地域住民も加わった委員で構折半により負担している関係から、日高町も運行区域となっており、運行経費も両町 を展望した町内公共交通のあり方について生活路線バス等一元化調査特別委員会」 係行政機関、更に「厚賀太陽線」は日高町長に、専門家や交通事業者、地域住民や関 再生に関する法律」に基づき、副町長を会成21年2月に「地域公共交通の活性化及び T, る検討はもとより、議会路線バスの一元化を掲げ、 新冠町行財政改革大綱推進計画」に、生活指すべく、平成18年度に策定した「第3次 数台ある状況から、 町は、 ご意見をいただいた経過がございます。 これらのことを踏まえまして、平 これらの有効活用を目 議会におきましても 庁舎内部におけ

> 成果を得ることができました。伴う経費の削減が見込まれる また、 実証運行を利用された方に対して ることなどの

> > 促進するため、

る

なるような声もございませんでした。 話による予約につきましても、 により便利と感じる人が約88%であり、電のヒアリング結果を見ましても、自宅送迎 特に問題と

ですので、予約運行方式によって、今後、かった方の利用が3割弱居たということたが、これまで道南バスを利用していなと比較して微増という結果ではありましまた、期間中の利用者人数は、道南バス まえ、既存路線バス「厚賀太陽線」に替えこのような実証運行の結果と検証を踏利用者が増えることも考えられます。

になるものと判断できることから、本年12更に利便性の向上や効率的な運行が可能

上し、去る11月26日に予算成立したところめ、本年度補正予算に1、085億円を計緊急促進臨時特例交付金」の創設方針を決事業として、「子宮頚がん等ワクチン接種 度と来年度の2カ年の措置として、予機会を提供する必要があると判断し、 見等を考慮し、 でございます このことは、国が疾病の重篤性などの意 接種費用の助成を支援す

れることが決定されたものでございます。 置が講じられ、事業費の90%が財政支援さ るための基金を、都道府県に設置すること種の実施主体となる市町村に財政支援す 残る市町村負担分については地方財政措 し、基金から2分の1を交付するとともにとしたもので、市町村の接種助成事業に対 これを受け北海道は、 対象年齢層に緊急的に接種 2月開会の定例道 予防接 本年

## について ホッカイドウ競馬の存続決定と今後の動向 6

以降の存続を表明したところでございま上が見込めることなどの理由から、次年度共同馬券発売システムの導入など収益向見通せ、運用が検討されている地方競馬の体質からの転換が進み、単年度収支均衡が 知事は、 す 重要性を総合的に勘案するとともに、 員会で、国内唯一の産地競馬としての役割 ホッカイ 去る10月 ウ競馬の存廃につ 6 日 の道議会予算特別委 いて、 赤字 高橋

日に開幕し、 間の全日程を終了しました。 Iに開幕し、11月18日をもちまして、 平成22年のホッカイドウ競馬は、4 、4 80月 日28

9 本年度の競馬開催での売上は1  $2 \\ 2 \\ 4$ 「万円と、 前年 対比で97・8%、 》、2 計億



今後予定されて ります。 ります収支均衡が達成される見込みであることから、最終的には、当初の目標であ関東等の場外発売なども収益に加算され が 、 じ り 4 ・ これも、 日分少ない開催日数との比較では前年、これは、昨年の81日間との比較であり、 後予定されています冬季間における南 4%という結果となっております 管内各町の関係団体、 いるところであります 多くの関 あり、 Ľ

賜物と考えているところであります。ければならない」という強い意識と努力の係者の皆さん、ファンの方々の「存続しな スなど、売り上げの支援に努めて参りまし運行などファンサービス事業や協賛レーの関係団体と協力し、アイバ祭や無料バス 当町におきましても、 新ひだか町や両町

> に運営できるかが重要となります。て、継続は決まりましたが、今後も た。 今後のホッカイ ドウ競馬の運営につ 今後も安定的 63

ホッカイドウ競馬は、競走馬の供給基地げが伸びると言われています。 の能力が予想できるレースの方が、売り上般的にレースでの出場回数が多く、競走馬 大きな課題として、馬券の売り上げは

の地方競馬、中央競馬に転出してしまう状馬の約半数は即戦力として南関東や全国しかも、競走能力が明らかになると、2歳 が多く、 況にあります。 と言われるほど、デビュー そのレ スも全体の3割以上で、 ・仕立ての2歳馬

催者との相互発売、ネット投票などによる、げ減や経費面では場外施設の展開と他主 高コスト体質によって、常に厳しい運営を 余儀なくされています。 また、 多くのミニ場外発売所での売り上

する予定で作業を進めております。 最低5年間の長期ビジョンを年 これら課題が山積した中で、 を年内に策定

られていることからも、多くの道民や軽種ファンに支持される強い馬づくりも求め可欠で、売り上げに直結する番組作りや予想される中、運営に関する創意工夫が不気の動向によっては、さらに厳しい状況が るよう要望して参ります。 この計画策定にあたっては、 国内外の景

化」の確立と他産業への波及を目指し、こ図るとともに、「馬産地競馬」、「馬産地文種馬生産の振興と生産者経営の安定化を 町といたしましても、 主要産業である軽

ます。

回っているものの、

販売頭数の減少により販売価格が前年より上

## 次産業の概況について

減の1億1、336万円となっておおいて価格減により前年比1、77は収量が前年を上回ったものの、町はじめに農産部門ですが、水稲 おります。 年を5、543万円上回る4億8、920また、そ菜関係では総販売額において、前 円台を保つとともに過去最高額となって 額が3億8千万円に達し、5年連続の3億 干下回ったものの、価格の伸びにより販売あるピーマンにおいては収量が前年を若 万円となっており、 336万円となっております 特に当町の基幹作目で 水稲にお 、 7 7 9 万 円 の 、 販売額に いて

において前年を大きく下回る状況で推移少する厳しい結果となっており、総漁獲高も減

しております。

566万円となっおきましても5、 万 頭平均価格は前年を若干下回った464 数は165頭で前年比4頭の増、売却額に道市場の取引販売実績を見ますと売却頭 畜産部門では、 円となりました。 66万円となっておりますが、 964万円増の7億6、 軽種馬生産にお 反面、 いて北海 \_\_\_\_

響により、 Ŋ を5、665万円下回る状況で推移しておも若干下がったことから乳代は前年同期 の減少から乳量が下回っており、また乳価 ます 『により、個体乳量の落ち込みや飼養戸数酪農においては、夏の猛暑など気候の影

数、金額とも回っており、 いては、 り売却額は前年同期を4、 肉用牛関係で、 上向いていることと、 金額とも前年を 価格的に悪い時期から比べると若 p前年を上回る状況で、さらにまた、肥育販売においては頭 黒毛和牛の を4、422万円上、販売頭数の増によ 素牛販売にお

干

おります。 合が大きい「秋さけ」を始め、「たこ」の増加しておりますが、総漁獲高に占める割は、漁獲量が前年を大きく上回り漁獲高も 種別漁獲状況において、「かれい」「ほっき」 売却額が前年を下回った状況で推移して 次に水産部門ですが、 本年 11月までの 魚



## 学校教育の推進状況について

0

行ってまいりました。 の学力向上の取組についての意見交換を ける外国語活動や、道教委及び日高教育局 育委員会委員研修会に参加し、小学校におりますが、浦河町で開催された日高管内教 はじめに、 教育委員の活動についてであ

てであります。

科より低い傾向にあります。中学校におの差が4から7・2ポイントあり、他の教おいては、算数Aの平均正答率は、全国と均正答率を下回っております。小学校に べて、小中学校とも、 まず北海道の調査結果ですが、 こおります。小学校に、依然として全国の平|結果ですが、全国と比

の維持に努めているとこ	り催気に努むているレビ		ない、いわゆる交通弱者の「足」を確保す	が自動車を運転して移動することのでき	特に子供や学生、高齢者の方々など、自ら	なっており、町としては、町民の皆さん、	これらの路線は、いずれも赤字路線と	厚賀太陽線がございます。	沿岸線及び泉線、日高町厚賀駅が発着地の	行する新ひだか町静内駅が発着地の日高	町内における生活路線は、道南バスが運	と予約運行方式の導入について	生活路線「厚賀太陽線」の廃止
の財政負担の問題、更には、行政目的	の財政負担の問題、更には、行政目的しかし、年々利用者が減少傾向にある	の財政負担の問題、更には、行政目的しかし、年々利用者が減少傾向にある	の財政負担の問題、更には、行政目的しかし、年々利用者が減少傾向にあるの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出して	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確	財政負担の問題、更には、行政目かし、年々利用者が減少傾向にあ維持に努めているところです。め、赤字に対する補助金を支出し、いわゆる交通弱者の「足」を確動車を運転して移動することの	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さ	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあに子供や学生、高齢者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路賀太陽線がございます。	の財政負担の問題、更には、行政目の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあっており、町として移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町として移動することの時後、赤字に対する補助金を支出しため、赤字に対する補助金を支出しため、赤字に対する福野者の方々など、つており、町として移動する。 に子供や学生、高齢者の方々など、	の財政負担の問題、更には、行政目の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町として移動するまとのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町として移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、これらの路線は、いずれも赤字路賀太陽線がございます。	の財政負担の問題、更には、行政目の財政負担の問題、更には、行政目にその大いので、「ない」であり、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町として移動する素ひだか町静内駅が発着する新ひだか町静内駅が発着地の時内における生活路線は、道南バス町内における生活路線は、道南バス	<b>予約運行方式の導入につい</b> の財政負担の問題、更には、行政目 しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ
の財政負担の問題、更には、行政目的	の財政負担の問題、更には、行政目的しかし、年々利用者が減少傾向にある	の財政負担の問題、更には、行政目的しかし、年々利用者が減少傾向にある	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出し	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することの	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さ	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路	の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあに子供や学生、高齢者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路賀太陽線がございます。	の財政負担の問題、更には、行政目の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあっており、町として移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町として移動することの時後、赤字に対する補助金を支出しため、赤字に対する補助金を支出しため、赤字に対する福野者の方々など、つており、町として移動する。 に子供や学生、高齢者の方々など、	の財政負担の問題、更には、行政目の財政負担の問題、更には、行政目しかし、年々利用者が減少傾向にあっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町として移動するまとのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町として移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、これらの路線は、いずれも赤字路賀太陽線がございます。	の財政負担の問題、更には、行政目の財政負担の問題、更には、行政目にその大いので、「ない」であり、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町として移動する素ひだか町静内駅が発着する新ひだか町静内駅が発着地の時内における生活路線は、道南バス町内における生活路線は、道南バス	<b>予約運行方式の導入につい</b> の財政負担の問題、更には、行政目 しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ
の材汝負旦の問題、更こは、亍汝ヨ内	<b>り材女員旦の問題、更こは、亍女ヨウしかし、年々利用者が減少傾向にある</b>	<b>り材牧負旦刀問題、更こよ、亍女ヨウしかし、年々利用者が減少傾向にある</b>	り材攻負旦刀問題、更こは、亍女目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出し	<b>り材</b> 牧負旦刀問題、更こよ、亍女目しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。 にめ、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確	<b>り材</b> 攻負旦刀問題、更こは、亍女目 しかし、年々利用者が減少傾向にあ の維持に努めているところです。 ため、赤字に対する補助金を支出し い、いわゆる交通弱者の「足」を確 自動車を運転して移動することの	<b>り材</b> 攻負旦刀問題、更こは、テ女目 しかし、年々利用者が減少傾向にあ の維持に努めているところです。 に対する補助金を支出し い、いわゆる交通弱者の「足」を確 自動車を運転して移動することの に子供や学生、高齢者の方々など、	D 材 女負担 D 問題、更こは、亍女目 の維持に努めているところです。 ため、赤字に対する補助金を支出し い、いわゆる交通弱者の「足」を確 自動車を 運転して移動することの に子供や学生、高齢者の方々など、 っており、町としては、町民の皆さ	D 材 文負旦 D 問題、更こは、テ文目 D 材 文負旦 D 問題、更こは、テ文目 い、いわゆる交通弱者の「足」を確 自動車を運転して移動することの に子供や学生、高齢者の方々など、 っており、町としては、町民の皆さ っており、町としては、町民の皆さ	<b>り</b> 材攻負担刀問題、更こは、テ女目 の維持に努めているところです。 に子供や学生、高齢者の方々など、 っており、町としては、町民の皆さ っており、町としては、町民の皆さ これらの路線は、いずれも赤字路 賀太陽線がございます。	の お な う な し か し 、 い わ ゆ る 交 通 弱 書 で す る 補 封 し て 移 動 す る こ た の ち 、 町 と し て 移 動 す る こ と の に 子 供 や 学 生 、 高 齢 者 の 「 足 」 を 確 れ し て お い ず れ も 赤 字 に 対 す る 二 と の ち 、 い ず れ も 赤 字 監 し て 移 動 す る こ と の に た め 、 、 い わ ゆ る 交 通 弱 者 の 「 足 」 を 確 れ し て お り 、 町 民 の 皆 さ 、 の に し て 移 動 す る こ と の に に し て 移 動 す る こ と の に に し て お い ず れ も 赤 字 医 、 赤 字 に 対 ち る に し て お い ず 、 町 民 の 皆 さ 、 の に こ ろ で す 。 の に 、 か に 、 の 皆 た の に 、 の に て ち の に 、 の 下 こ を 確 に の に 、 の 下 ち の 、 の 、 の 、 の て こ ろ の で す 。 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の う の 、 の 、 の 、 の う の で し て う の で 、 の 、 し つ て の で う の て の で ろ で や う 、 の う の ら の し の た こ ろ ろ の て う の う の ら の ら し う う の ら し の ら し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら し う し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら し つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ こ ろ つ ら つ ら つ ら つ ら こ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ こ ろ つ ら つ う つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ ら つ つ つ ら つ つ う つ こ つ つ つ つ こ つ ら つ こ ろ つ つ つ こ つ つ つ つ う つ こ ろ つ つ つ つ つ つ つ つ こ つ う つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	D 材 2 負 4 D 問 5 で で 2 大 1 世 2 小 5 世 5 世 5 世 5 代 1 世 5 代 5 代 1 世 5 代 1 世 5 代 5 代 1 世 5 代 5 代 1 世 5 代 5 代 1 世 5 代 1 世	の お な う し か し た め 、 い わ ゆ る 交 通 弱 し て は 、 い ち の 路 線 は 、 い ず れ も 赤 字 に 対 す る 新 ひ に デ 供 や 学 生 、 高 齢 者 の 方 々 な ど 、 っ て お り 、 町 と し て は 、 町 民 の 皆 本 っ て お の 、 い ず れ も 赤 字 路 よ の 方 々 な ど 、 っ て お り 、 町 と し て は 、 町 王 の ち の ち の 路 線 は 、 い ず れ も 赤 字 路 着 の 方 々 な ど 、 っ て お り 、 町 長 の 日 長 の ち の ち の た め し て は 、 町 長 の 古 る た ろ て ち の た の た 、 、 い ず れ も 赤 字 路 着 す の ち て よ 、 の に 子 供 や 学 生 、 、 町 長 の 「 足 」 を 確 世 ろ の て よ 、 の 、 町 長 の 「 足 」 を 確 世 ろ の て よ 、 の て し て る た 、 の て う て す る た 、 つ て す る た こ ろ で す の 、 町 う て う て う 、 町 ち の て う て う て う 、 の う て う て う 、 の 、 町 う ろ て う て う 、 の 、 、 町 う ろ ろ こ ろ ろ て う 、 て う 、 の て う し て う 、 つ て う 、 つ て ち し こ ろ て う 、 つ て う 、 つ て う 、 つ て う 、 つ て う 、 一 う 、 つ ち つ ち つ ち つ し こ ち つ こ つ ち つ こ ろ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ て う つ し こ ろ つ て う つ こ つ て う 、 一 つ こ ろ つ こ ろ つ て う つ こ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ ち つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ ち つ こ ろ つ て う こ つ ち つ ち つ こ ろ こ ろ つ ち つ こ ろ つ ち つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ つ こ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ こ ろ こ ろ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ こ つ こ ろ つ こ ろ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ こ こ つ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ こ こ つ つ つ こ つ つ こ つ つ つ こ つ つ	<b>予約運行方式の導入につい</b> 「うかの しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ しかし、年々利用者が減少傾向にあ に子供や学生、高齢者の方々など、 っており、町としては、町民の皆さ っており、町としては、町民の皆さ っており、町としては、町民の皆さ っており、町としては、町民の皆さ っており、町としては、町民の皆さ ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する補助金を支出し ため、赤字に対する 本目の です。
ー イ ノ ラ リ ミ フ ぞ ノ イ 目 し こ ン	し、年々利用者が減少傾向にある	しかし、年々利用者が減少傾向にある	しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出し	しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確	しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することの	しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、	しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さ	しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。に子供や学生、高齢者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路	しかし、年々利用者が減少傾向にあの維持に努めているところです。に子供や学生、高齢者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路賀太陽線がございます。	しかし、年々利用者が減少傾向にあっており、町として移動するころです。 に子供や学生、高齢者の方々など、っており、町として移動することの に子供や学生、高齢者の方々など、 っており、町としては、町民の皆さ これらの路線は、いずれも赤字路 賀太陽線がございます。	しかし、年々利用者が減少傾向にあっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さの。 に子供や学生、高齢者の方々など、 にかり、町としては、町民の皆さ	しかし、年々利用者が減少傾向にあっており、町として移動する新ひだか町静内駅が発着地のに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、つており、町としては、町市の市としては、市等に対する補助金を支出したが、赤字に対する補助会における生活路線は、道南バス	しかし、年々利用者が減少傾向にあ の維持に努めているところです。 しかし、年々利用者が減少傾向にあ の維持に努めているところです。
	く、Fマ川目皆が或い頂句ころる	ン 2、 F マ 河 月 皆 ざ 咸 ひ 頁 句 こ ろ る	> ハ >、 Fp川月皆が或り頂向こあの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出し	> ハ >、 F z 刘月皆が或い頁句ころの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確	> い)、⋿マ町用皆が減い頂向ころの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することの	>ハン、Fマ河月皆が或い貢向ころの維持に努めているところです。ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、	>ハン、Fマ河用音が減い預向ころの維持に努めているところです。 ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さ	>ハン、Fマ河月省が減い預向ころの維持に努めているところです。 ため、赤字に対する補助金を支出しい、いわゆる交通弱者の「足」を確自動車を運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路	>ハン、Fマ河用者が減り預向ころの維持に努めているところです。 に子供や学生、高齢者の方々など、っており、町として移動する運転して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、うており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路賀太陽線がございます。	>かし、Facilleleのであっているところです。 の維持に努めているところです。 に子供や学生、高齢者の方々など、 っており、町としては、町民の皆さっており、町として移動する正分の路線は、いずれも赤字路 して移動することのに子供や学生、高齢者の方々など、 に子供や学生、高齢者の方々など、 に子供や学生、高齢者の方々など、 に子供や学生、高齢者の方々など、 に子供や学生、高齢者の方々など、 の維持に努めているところです。	シルン、Fマ河用省が域と預向ころの維持に努めているところです。 に子供や学生、高齢者の方々など、っており、町としては、町民の皆さこれらの路線は、いずれも赤字路 でおり、町としては、町民の皆さっており、町として移動することの に子供や学生、高齢者の方々など、 する新ひだか町静内駅が発着地の する新ひだか町静内駅が発着地の	レルン、F々可用者が減い預向ころ の維持に努めているところです。 に子供や学生、高齢者の方々など、 っており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さっており、町としては、町民の皆さ のており、町としては、町民の皆さっており、町として移動することの に子供や学生、高齢者の方々など、 に子供や学生、高齢者の方々など、 に子供や学生、高齢者の方々など、 に子供や学生、高齢者の方々など、 の維持に努めているところです。	<b>予約運行方式の導入につ</b> いいいわゆる交通弱者の「足」を確 自動車を運転して移動することの に子供や学生、高齢者の方々など、
の維持に努めているとこ	の隹寺ころりているトニ		ひ、赤字こ付する甫bbを支出し	<b>め、赤字こ付する甫仂金を支出 〉</b> 、いわゆる交通弱者の「足」を確	o、赤字こ付する甫仂金を攴出 > 、いわゆる交通弱者の「足」を確 動車を運転して移動することの	<b>め、赤字こ付する甫功金を支出っていわゆる交通弱者の「足」を確動車を運転して移動することの子供や学生、高齢者の方々など、</b>	<b>め、赤字こ付する甫功金を支出し、いわゆる交通弱者の「足」を確動車を運転して移動することの子供や学生、高齢者の方々など、ており、町としては、町民の皆さ</b>	<b>り、赤字こ付する甫功金を支出し、いわゆる交通弱者の「足」を確動車を運転して移動することの子供や学生、高齢者の方々など、ており、町としては、町民の皆されらの路線は、いずれも赤字路</b>	<b>り、赤字こけする甫功金を支出しており、町として移動することの 動車を運転して移動することの子供や学生、高齢者の方々など、ており、町としては、町民の皆されらの路線は、いずれも赤字路太陽線がございます。</b>	め、赤字こ付する浦内金を支出し の、赤字こ付する浦内金を支出し の、いわゆる交通弱者の「足」を確 す供や学生、高齢者の方々など、 ており、町としては、町民の皆されらの路線は、いずれも赤字路 太陽線がございます。	め、赤字こ付する浦内金を支出し の、赤字こ付する浦内金を支出し の路線は、いずれも赤字路 れらの路線は、いずれも赤字路 れらの路線は、いずれも赤字路 太陽線がございます。	め、赤字こ付する浦内金を支出し の、いわゆる交通弱者の「足」を確 れらの路線は、いずれも赤字路 れらの路線は、いずれも赤字路 な陽線がございます。 ており、町としては、町民の皆さ たいわゆる交通弱者の方々など、 る新ひだか町静内駅が発着地の 内における生活路線は、道南バス	ン 約 運行 方式 の 導入 につ い で お り、 町 と し て お り、 町 と し て は、 い ず れ も 赤 字 路 線 は 、 い ず れ も 赤 字 路 線 は 、 い ず れ も 赤 字 路 線 は 、 い ず れ も 赤 字 路 森 は 、 い ず れ も 赤 字 路 れ ら の 路 線 は 、 い ず れ も 赤 字 路 大 に ち に 、 町 民 の 皆 さ 、 て お り 、 町 た し て は 、 町 民 の 皆 さ 、 て お り 、 町 た し て は 、 い ず れ も 赤 字 路 大 た の ち っ た た の ち た た た の ち た た た の ち た た た の ち た た た の ち た た た た た の ち た た た た た た た た た た た た た
の維持に努めているところです。	の			いわゆる交通弱者の「足」を	いわゆる交通弱者の「足」を車を運転して移動すること	いわゆる交通弱者の「足」を確保車を運転して移動することので供や学生、高齢者の方々など、自	いわゆる交通弱者の「足」を確保車を運転して移動することので供や学生、高齢者の方々など、自おり、町としては、町民の皆さん	いわゆる交通弱者の「足」を確保車を運転して移動することので供や学生、高齢者の方々など、自おり、町としては、町民の皆さんらの路線は、いずれも赤字路線	いわゆる交通弱者の「足」を確保車を運転して移動することので供や学生、高齢者の方々など、自おり、町としては、町民の皆さんらの路線は、いずれも赤字路線陽線がございます。	いわゆる交通弱者の「足」を確保中を運転して移動することので供や学生、高齢者の方々など、自おり、町としては、町民の皆さんらの路線は、いずれも赤字路線陽線がございます。	いわゆる交通弱者の「足」を確保いわゆる交通弱者の「足」を確保して移動することので供や学生、高齢者の方々など、自おり、町としては、町民の皆さんらの路線は、いずれも赤字路線陽線がございます。	いわゆる交通弱者の「足」を確保いわゆる交通弱者の「足」を確保して移動することのですを運転して移動することのですが、町としては、町民の皆さんらの路線は、いずれも赤字路線陽線がございます。	いわゆる交通弱者の「足」を確保 いわゆる交通弱者の「足」を確保 における生活路線は、道南バスが らの路線は、いずれも赤字路線 らの路線は、いずれも赤字路線 して移動することので したどしては、町民の皆さん でや学生、高齢者の方々など、自 の路線は、いずれも赤字路線 して移動することので

ることによる走行キロ数	利用者が居る時だけ、必	と、自宅送迎による利便	り、公共交通空白地域の	きなかった地域への乗り	まで道南バス車両では	月の2ヶ月に亘り実施し	とする、第1回目の実証	式(いわゆるデマンド交	わる効率的な交通手段と	掲げた、既存路線バス「	そして、本年度は、そ	成21年度に策定したとこ	ための「地域公共交通総	及び再生を、総合的かつ	新冠町内における地域な	会」を設置し、国の補助
気の減少と、それに	要な距離を運行す	性が向上したこと	)解消が図られたこ	り入れが可能とな	通行することがで	し、その結果、これ	<b>運行を9月から10</b>	〈通)の導入を前提	こして、予約運行方	「厚賀太陽線」に替	の計画の初年次に	ころです。	心合連携計画」を平	一体的に推進する	公共交通の活性化	補助事業を活用して

国はこの間、これら三ワクチンの接種を	し上げております。	23年度から公費助成を実施する旨、答弁申	接種環境を整えるなどの準備を行い、平成	問をいただきまして、当町は本年度中に、	9月定例会において、 椎名議員から一般質	ワクチン接種費用の助成については、本年	子宮頚がん、ヒブ及び小児用肺炎球菌の	について	子宮頚がん等ワクチン接種費用の公費助成	ます。	ことといたしましたので、ご報告申し上げ	と共同して来年1月からスタートさせる	たな公共交通サービスを従前同様、日高町	廃止するとともに、予約運行方式による新	月31日をもって「道南バス厚賀太陽線」を
Ľ		甲	<b>卢</b> 义。		貝	平	()		PX.		Ø	0	шĴ	籾	Ľ

します。	すので、ご審議を頂きご決定をお願いいた	2、113千円の事業費を計上しておりま	用の全額を助成することとして、予算総額	生後2ケ月~5歳未満で、それぞれ接種費	ら高校2年生、ヒブ・小児用肺炎球菌は、	助成対象は、子宮頚がんが中学1年生か	ております。	定例会に関連予算を提案させていただい	23年2月から助成を開始することとし、本	いて、来年度からの実施予定を早め、平成	踏まえ、三ワクチンの接種費用の助成に	当町といたしましては、これらの状況を	知を受けております。	算成立日であります11月26日となる旨、通	定で、交付金事業の適用開始日は、国の予	議会に基金条例と関連予算を提案する予
	() ()	おり	昇総	<b>接</b> 種	菌は、	年生		ただ	Ę	平	成につ	次況		) 「 「	国の	りる
	た	ま	頟	鏆	•	か		67	本	灰	5	を		迧	Ť	Ť